

民主化闘争情報

No. 967

2018年1月30日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

JR北労組自動車支部は、1月1日付で、ジェイ・アール北海道バスで働く女性1名を組織拡大した。JR北労組自動車支部全体の連携と、職場における組合員一人ひとりの職場における世話役活動が実り、JR連合・JR北労組の運動が理解され、加入への決断に至ったものと考えられる。

世話役活動が実り、女性1名が加入！

ジェイ・アール北海道バスにおける過半数をめざし拡大を進める

9月、10月、12月に引き続き連続加入！

ジェイ・アール北海道バスにおけるJR北労組への加入の勢いは、9月、10月、12月と続いており、組合役員らの意識が高まることで、さらに強まりつつある。着実に組織人員を増やしている状況は、決して一時的なものではなく、JR北労組運動およびJR連合・自動車連絡会の政策実現に向けた取り組みの正当性が、良識ある他労組組合員等にも理解されてきたことの証左でもある。引き続き、JR連合が掲げる「あるべき労働組合像・労使関係像」の実現に向けて、民主化闘争と組織強化・拡大の取り組みを推進していく。

1月29日に国交省自動車局と意見交換を実施！

～JR連合自動車連絡会は、JR北労組自動車支部ら加盟単組とともに、組合員・家族のために、政策実現に向けた運動を粘り強く続けていく～

JR連合自動車連絡会は、魅力あるバス産業構築のために、JRバスで働く組合員の労働条件向上、バス産業政策の課題解決、さらには組織課題解決のための情報共有、情報交換の場として「幹事会」および「総会」を開催している。1月29日には「幹事会」を開催し、昨年実施した賃金・労働実態アンケート調査結果を確認した。また定期的に行っている国土交通省自動車局との意見交換会を合わせて開催した。意見交換会では、人材確保のためには、長時間労働の是正や働き方の見直しが必要不可欠であり、行路や勤務交番のもととなる改善基準告示の見直しを国土交通省が主導して取り組むよう訴えた。さらには女性運転者の拡大に向けた行政の積極的関与等を強く要請した。

JR連合は、JRバス労働界において、JR連合自動車連絡会の政策課題解決能力を磨き発揮していくことが、組織強化、組織拡大、さらには民主化闘争完遂にも繋がるものと確信し、取り組みを進めていく。